

2025年3月期
決算説明資料
YOSHITAKE



Listed Company 6488

2025年3月期 決算概要

2025年3月期の総括



雇用環境は緩やかに改善しており、個人消費が今春の好調な賃上げを受けて上向いたことで、緩やかな回復基調を維持しました。円安の進行などによる物価高が実質購買力と消費マインドに悪影響を及ぼしたものの、中国人観光客を中心とするインバウンド需要の回復などが消費関連業種の景況感を押し上げました。企業部門においては、良好な収益環境や期待成長率の高まりを背景に、人手不足への対応によるデジタル化・省人化投資が拡大した他、半導体や脱炭素に関する政府支援もあり好調を維持しました。今後につきましては、設備投資に関しては米国政府の関税引き上げによる企業収益の悪化が重石となるものの、個人消費、インバウンド需要の増加が景気を牽引し、緩やかな回復基調が続く見込みであります。

海外経済においては、米国経済は長引く金融引き締めの影響により主に低所得者層の消費は抑制されているものの、コロナ禍の財政支援などによる家計貯蓄が消費の原資となった他、底堅い雇用・所得環境を背景に実質賃金はプラスの伸びを維持し堅調に推移しました。欧州経済はエネルギー価格の高騰が一服し、食料品価格もピークを越えたことで、消費者物価の上昇率は明確に鈍化しました。これに伴い一部の国では実質購買力が回復し、個人消費の持ち直しがみられました。製造業については、世界需要の回復や供給制約の緩和により景況感が改善し、欧州経済は緩やかな回復基調を維持しています。中国経済は公共投資の下支えなどにより政府が目標として掲げた国内総生産の前年比5%増は辛うじて達成できたものの、家計の消費マインドの冷え込みや不動産市場の不況が長期化しており、景気の本格回復への道筋は見通せない状況となっております。今後につきましては、ウクライナ情勢および中東情勢など予断を許さない状況となっている他、1月に米国大統領に就任したトランプ大統領による相互関税政策が今後の世界情勢に与える影響なども不確実性を増しており、先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売では、当社の主力製品である減圧弁等で売上を伸ばした他、製鉄関連市場において前期を大きく上回る売上を達成しました。また工場設備市場においては、省エネルギー効果・CO2削減効果に寄与するワイズジャケットの好調などにより売上を伸ばし、国内売上は前期を上回る推移となりました。海外顧客向け販売では、北米向けや欧州向けの販売が好調に推移したことに加え、前期に取得した海外子会社の売上を連結したことにより、販売活動全体としては前期を上回る結果となりました。

当社グループは一丸となり、引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は98億43百万円となり、前期に比べ9.9%の増加となりました。

損益面では、営業利益は10億68百万円(前期比22.2%増)、経常利益は14億49百万円(前期比2.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は9億32百万円(前期比17.7%減)となりました。

1. 当社の主力製品である減圧弁等で売上を伸ばしたことや、前期に取得した海外子会社により売上および営業利益は増加
2. 為替差損の増加や、前期に発生した物品売却益が当期は未発生だったことなどにより経常利益は減少
3. 特別損失(レッツ(株)関係)の発生により親会社株主に帰属する当期純利益は減少

2025年3月期の連結貸借対照表



(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	9,784,683	10,642,923	858,239
有形固定資産	4,615,974	4,552,911	△ 63,062
無形固定資産	887,679	765,983	△ 121,695
投資その他資産	4,052,441	4,296,771	244,329
固定資産	9,556,096	9,615,666	59,570
資産合計	19,340,779	20,258,590	917,810
流動負債	2,226,203	2,078,529	△ 147,674
固定負債	1,325,975	1,215,374	△ 110,600
負債合計	3,552,178	3,293,903	△ 258,274
純資産合計	15,788,601	16,964,686	1,176,085
負債純資産合計	19,340,779	20,258,590	917,810

連結貸借対照表主な変動要因



流動資産の増加

YWTで外貨普通預金が大きく増加

有価証券の増加

無形固定資産の減少

のれんの償却によりのれんが減少

投資その他資産の増加

有価証券への振替等により投資有価証券が減少

持分法による投資利益により関係会社株式が増加

流動負債の減少

支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少

固定負債の減少

長期借入金が減少

純資産合計の増加

親会社株主に帰属する当期純利益により利益剰余金の増加

為替換算調整勘定の増加

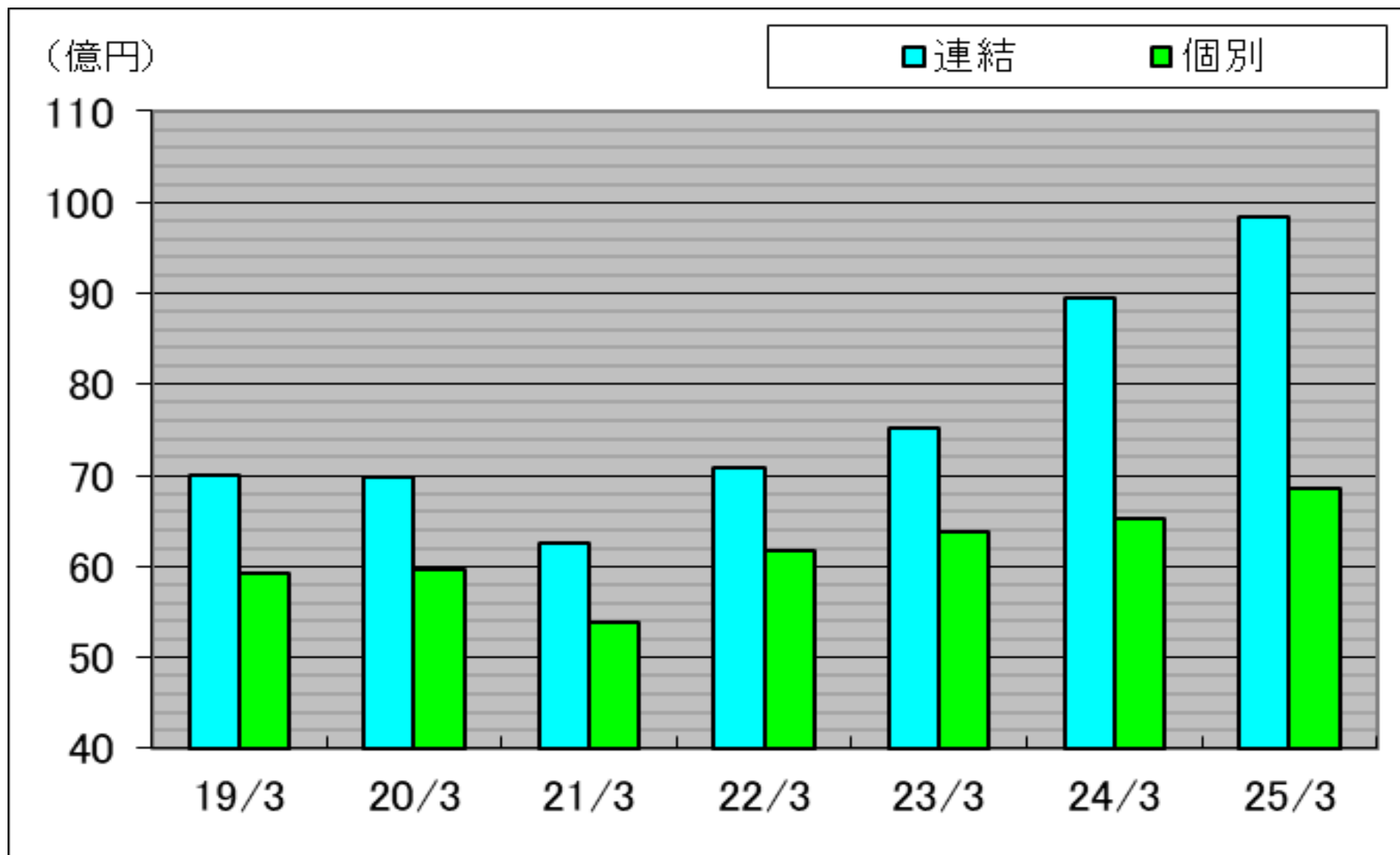
2025年3月期の連結損益計算書



(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
売上高	8,952,786	9,843,323	890,537
売上原価	5,539,128	5,924,028	384,900
売上総利益	3,413,657	3,919,294	505,637
販売費及び一般管理費	2,538,864	2,850,420	311,556
営業利益	874,793	1,068,873	194,080
営業外収益合計	649,824	543,769	△ 106,055
営業外費用合計	40,273	162,938	122,664
経常利益	1,484,344	1,449,705	△ 34,639
特別利益合計	65,277	53,650	△ 11,627
特別損失合計	13,958	175,908	161,950
税金等調整前当期純利益	1,535,663	1,327,446	△ 208,217
法人税、住民税及び事業税	377,885	346,422	△ 31,462
法人税等調整額	16,756	44,345	27,589
当期純利益	1,141,022	936,678	△ 204,344
非支配株主に帰属する当期純利益	7,243	3,694	△ 3,548
親会社株主に帰属する当期純利益	1,133,779	932,983	△ 200,795

売上高の推移



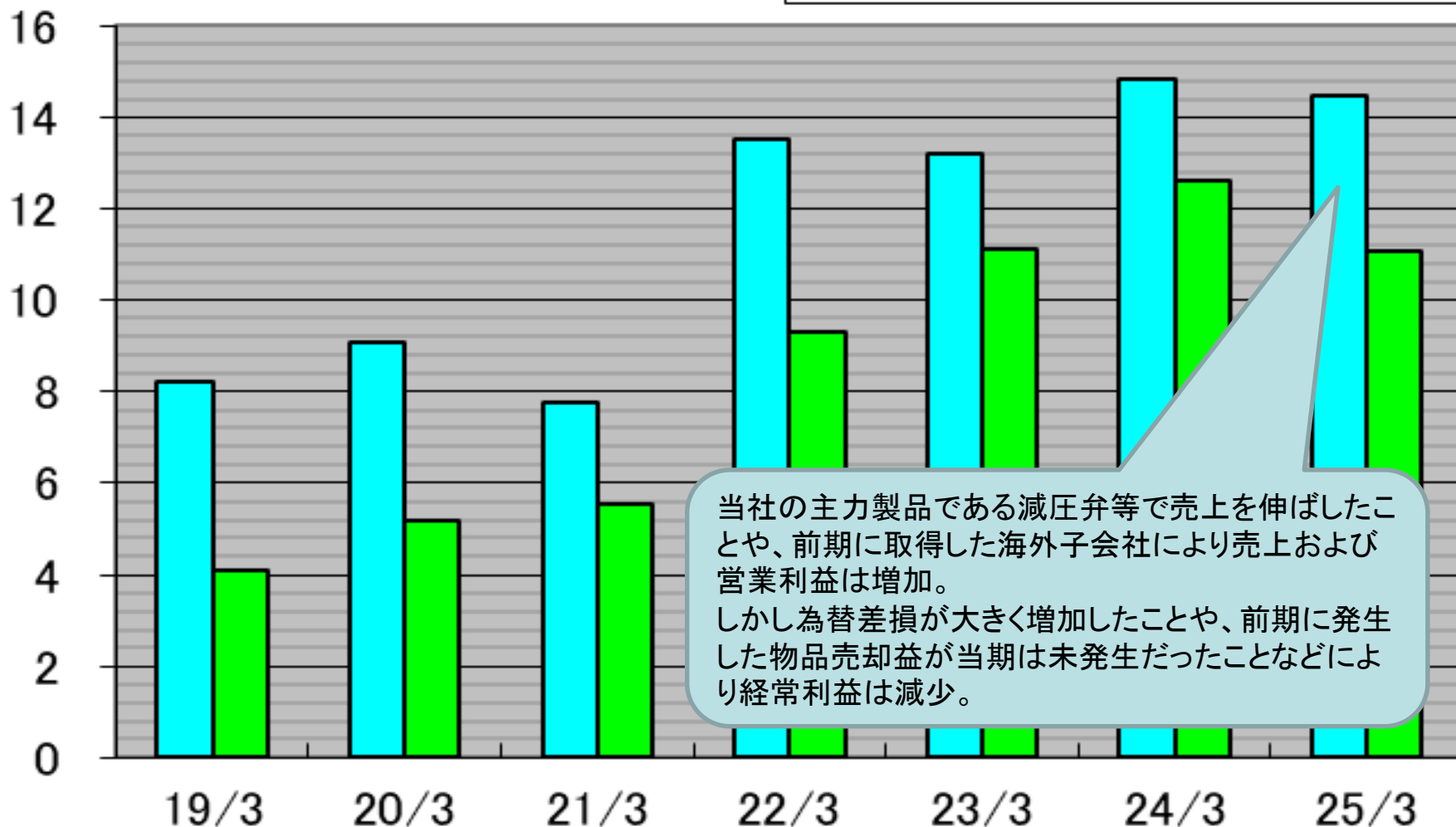
経常利益の推移



(億円)

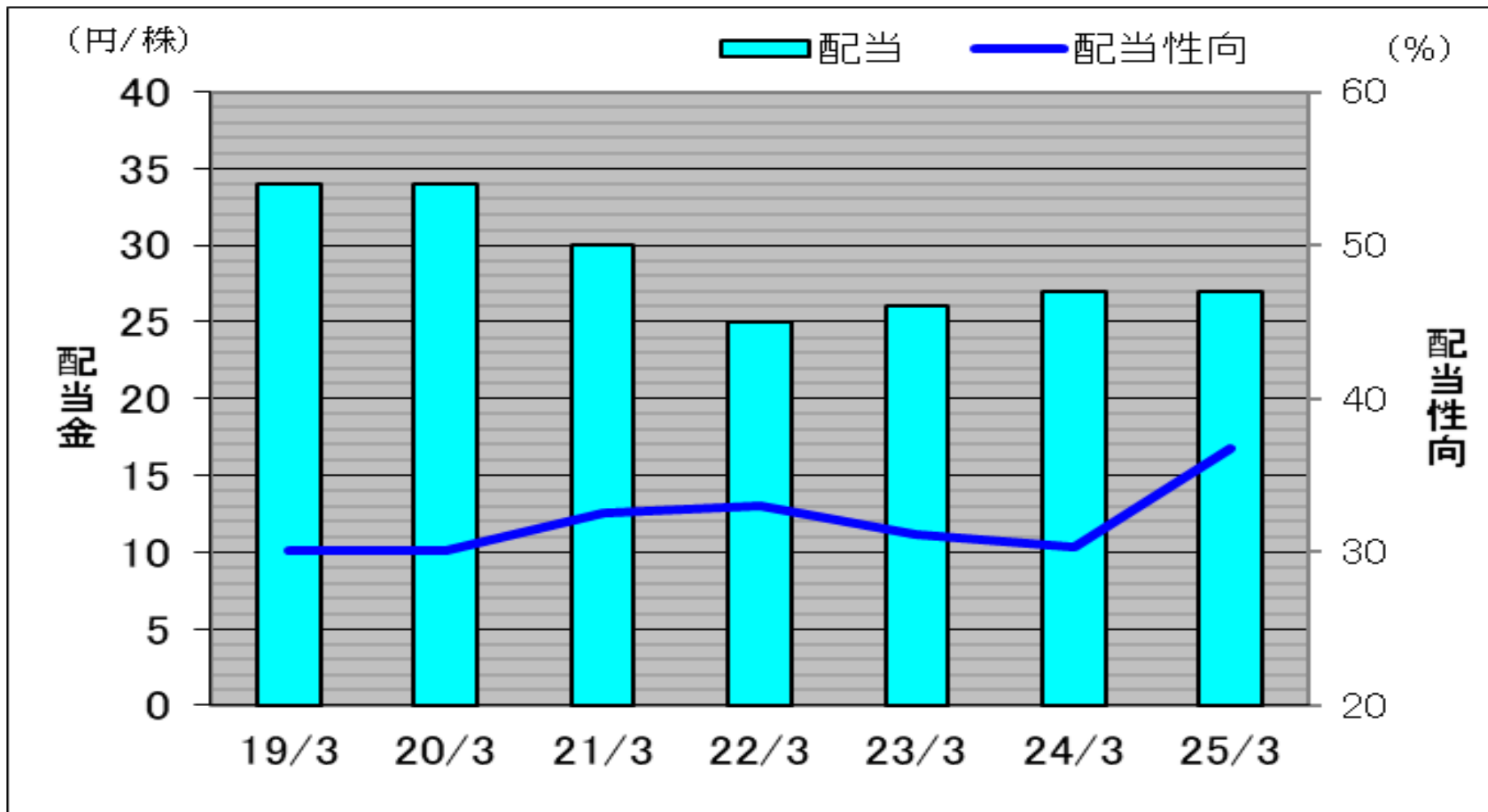
■ 連結

■ 個別



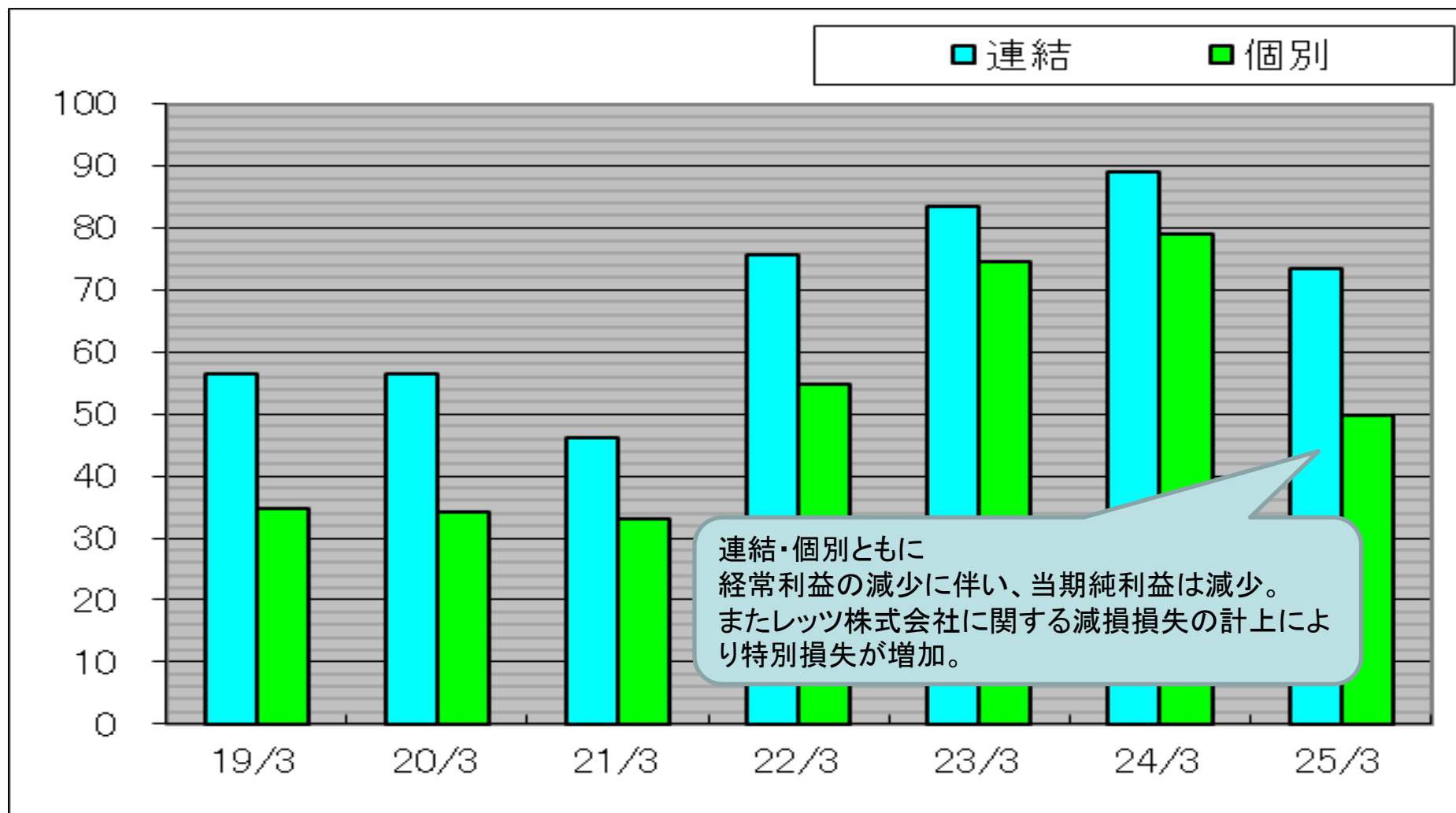
当社の主力製品である減圧弁等で売上を伸ばしたことや、前期に取得した海外子会社により売上および営業利益は増加。
しかし為替差損が大きく増加したことや、前期に発生した物品売却益が当期は未発生だったことなどにより経常利益は減少。

1株当たり配当の推移



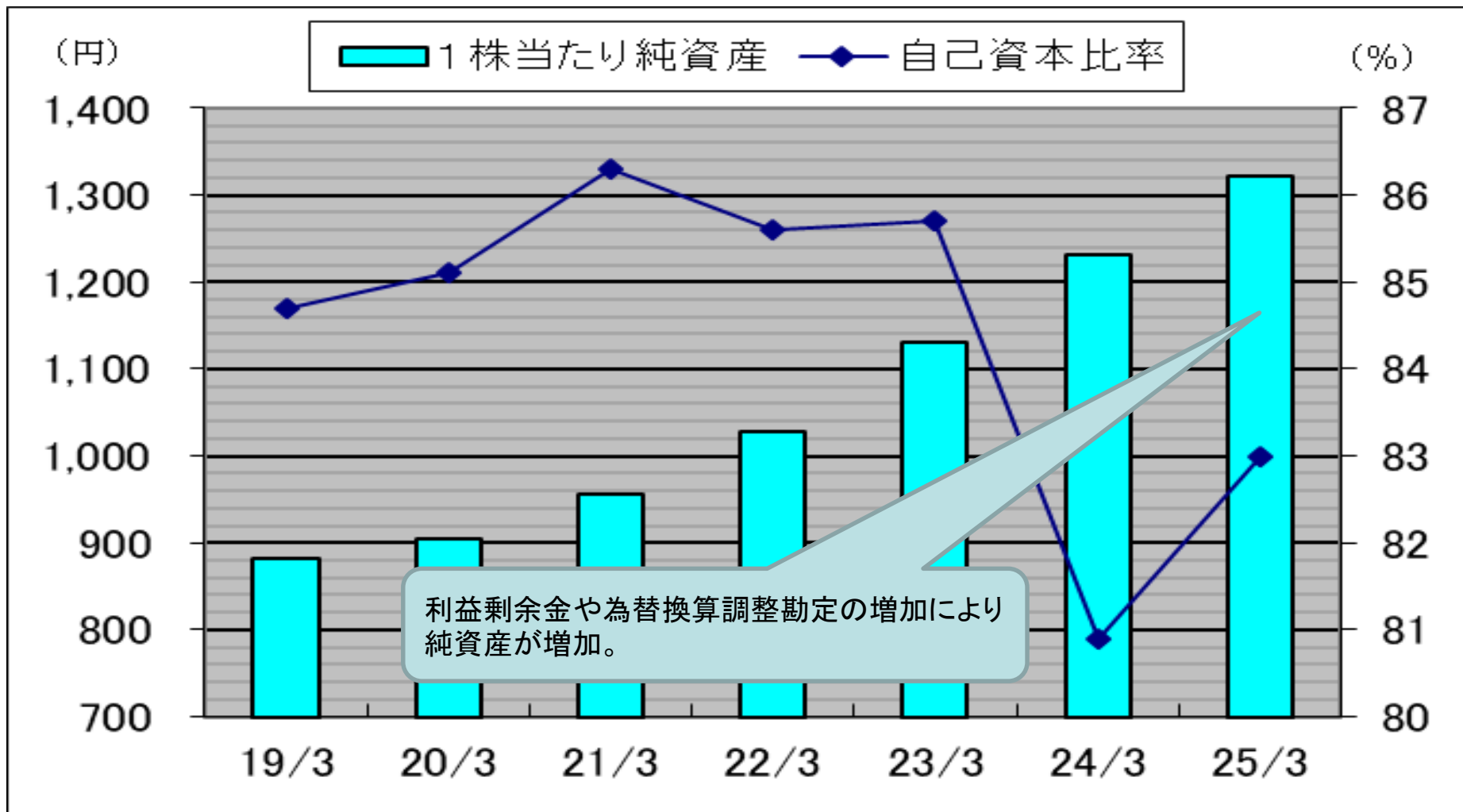
※ 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2021年3月期以前については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

1株当たりの当期純利益の推移



※ 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

1株当たり純資産(連結)の推移



※ 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

関係会社の業績は好調です。



レッツ株式会社につきましては、将来の収益見通しと回収可能性を勘案した結果、当初予定していた収益が見込めなくなったため減損損失を計上しております。
その他の子会社、持分法適用会社(関連会社)は業績好調です。

Yoshitake Works (Thailand) Ltd.	100%所有 (タイ国における製造販売子会社: 各種バルブの製造販売)
カワキ計測工業株式会社	100%所有 (日本における製造販売子会社: 流量計の製造販売)
ヨシタケアームストロング株式会社	50%所有 (日本における販売子会社: 米国アームストロング社製品の販売)
レッツ株式会社	100%所有 (日本における販売子会社: バイオマス燃焼炉の販売)
Doctrine Engineering (M) Sdn.Bhd.	100%所有 (マレーシア国における販売子会社: 当社製品の販売)
PT. Yoshitake Engineering Indonesia	100%所有 (インドネシア共和国における販売子会社: 当社製品の販売)
Access Professional Singapore Pte. Ltd.	100%所有 (シンガポール共和国における販売子会社: 当社製品の販売)
Access Professional Vietnam Company Ltd.	100%所有 (ベトナム社会主義共和国における販売子会社: 当社製品の販売)
Yoshitake Wuxi Fluid Technology Co., Ltd.	67%所有 (中華人民共和国における販売子会社: 当社製品の販売)
Armstrong Yoshitake, Inc.	50%所有 (米国における販売関連会社: 当社製品の販売)
Everlasting Valve Company, Inc.	50%所有 (米国における製造関連会社: 特殊バルブの販売)

2026年3月期 業績予想

2026年3月期業績予想



(単位: 千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	9,843,323	10,530,000	686,677
営業利益	1,068,873	1,250,000	181,127
経常利益	1,449,705	1,590,000	140,295
税金等調整前当期純利益	1,327,446	1,590,000	262,554
親会社株主に帰属する当期純利益	932,983	1,185,000	252,017

2026年3月期業績予想の概要



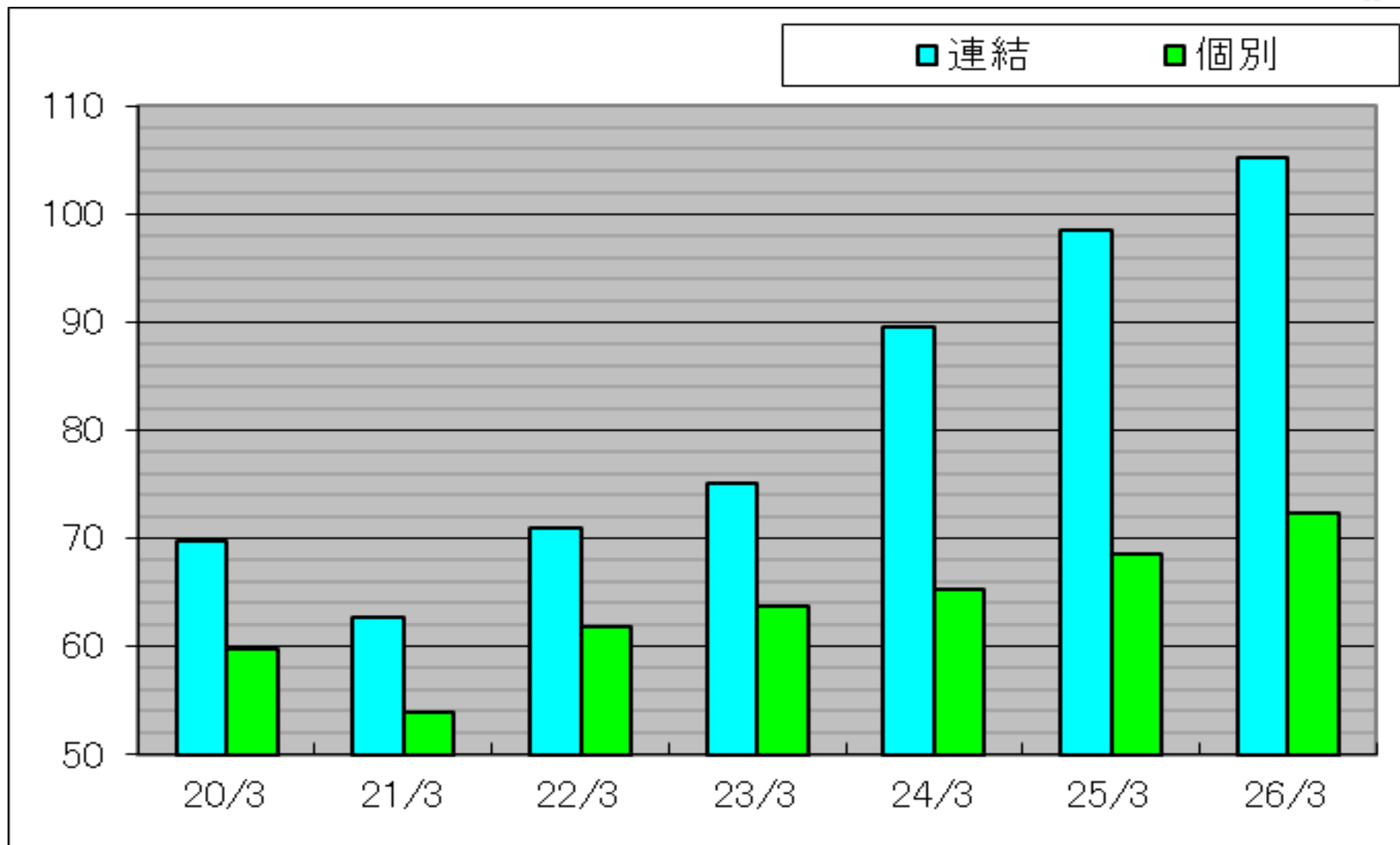
連結売上高:

国内においては個人消費、インバウンド需要の増加が景気を牽引すると見込まれるものの、米国政府の関税引き上げによる企業収益の悪化や円相場の急激な下落、金融資本市場の変動、物価上昇による家計の消費支出の動向等への影響には引き続き注視を要する状況にあります。海外においては、地政学的なリスクがもたらす経済損失により今後の世界経済は大幅に鈍化すると見込まれる他、米国政府による相互関税政策が今後の世界情勢に与える影響なども不確実性を増しており、先行きは不透明な状況が続くものと思われます。このような状況の下、当社グループにおきましては、より高度な提案営業を推進していく中で収益構造は改善を継続すると見込まれ、連結売上高は105億30百万円(当期比7.0%増)を予想しております。

損益:

当社グループ一丸となり生産活動全体の合理化とコストダウンに取り組み、経常利益15億90百万円(当期比9.7%増)、親会社に帰属する当期純利益11億85百万円(当期比27.0%増)を予想しております。

売上高の推移



対処すべき課題



継続的な成長を目指して次のような課題に取り組み、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

1. 販売シェアの拡大
2. 製品開発の強化
3. リスク管理の強化
4. サステナビリティ経営の推進

配当政策

当社は「株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつ」と考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当事業年度（第82期）につきましては、1株当たり27円の配当金とさせていただきます。

企業理念



フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。

いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンスはもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションをお客様に提供することも、私たちが考えるフェアビジネスの条件です。

本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをお含みおき下さい。